

三七七一番

宮人の 安眠も寝ずて 今日今日と 待つらむも  
のを 見えぬ君かも

三七七二番

帰り来る 人来れりと 言ひしかば ほとほと死  
にき 君かと思ひて

三七七三番

君がむた 行かましものを 同じこと 後れて居  
れど 良きこともなし

三七七四番

我が背子が 帰り来まさむ 時のため 命残さ  
む 忘れたまふな